



<目次>

- 平成 29 年度全国公共図書館研究集会（児童青少年部門）  
 &都道府県立図書館児童サービス担当者会報告
- 1. 全国公共図書館研究集会（児童青少年部門）報告 川上博幸
- 2. 都道府県立図書館及び政令指定都市市立図書館・児童サービス担当者会・  
 報告 二井治美
- 図書館訪問記 2 <日本の図書館は今> 川上博幸

\*\*\*\*\*

- 平成 29 年度全国公共図書館研究集会（児童青少年部門）  
 &都道府県立図書館児童サービス担当者会報告
- 1. 全国公共図書館研究集会（児童青少年部門）報告  
 児童青少年委員会委員 川上博幸

期日：平成 30 年 1 月 18 日（木）19 日（金）

場所：大阪市立中央図書館

主催：日本図書館協会 近畿公共図書館協議会 大阪公共図書館協会

平成 29 年度全国公共図書館研究集会（児童青少年部門）実行委員会

主管：大阪市立中央図書館 5階会議室

研究主題： 一人ひとりの子どもの読書活動を支援するために  
—子どもを取り巻く環境・地域と図書館—

第 1 日目（1 月 18 日）

【基調講演】

子どもの最善の利益を考える

～子どもの生活実態を知っていますか～

講師：大阪府立大学地域保健学域教育福祉学類教授 山野則子氏

2016年5月、児童福祉法の一部改正（施行2017年）があった。これは大きな改正で、第1条では、主語が旧法の国民から、新法では児童になった。即ち、「全ての児童は、児童の権利に関する条約の精神にのっとり、適切に養育されること、その生活を保障されること、愛され、保護されること、その心身の健やかな成長及び発達並びにその自立が図られることその他の福祉を等しく保障される権利を有する」となった。

次いで、「内閣府子どもの貧困対策に関する大綱」から、子どもの生活実態として、子どもの貧困（相対的貧困、絶対的貧困）の話があり、子どもはみんなが持っているもの（例えば自転車）を持っていないと言えないため、次第に友達から遠ざかっていく、ひいては学校へ行きたくなくなる。親の顔色を見るようになり、自分の願いや希望、夢を言えなくなる、それらをあきらめて願いを持たなくなる、こうして孤独、貧困が問題行動から学力低下につながっている、などの実態が伝えられた。

これに対して、全児童が対象の、学校が有望な対策の場（プラットフォーム）になり得る。これは必ずしも先生方が何かしないといけないということではない。学校内に子ども食堂があるという例も出てきている。貧困の連鎖を作らないことが大切で、英国でブレア政権が取り組んだ例も挙げられた。

子どもの貧困に対処している場へ図書館が本を提供する、読書につなぐ働きをするなど、関わっていくことが出来るのではないかな。

### 【事例報告1】

笑顔いっぱい、絵本いっぱいの東淀川～地域の中の図書館の活動から～

おはなしボランティアとことこ代表 渡邊裕美子氏

地域に在住する、一般的な主婦が図書館を利用し、その講演会に参加して、少しずつ地域に何か役立ちたいと真面目に関わっていくうちに、東淀川区の読み聞かせ事業などに参加し、徐々にボランティア活動の意義に目覚め、活動を豊かにしていった。その事例が本人から素直に語られた。主婦、住民が意識を高め、活動を多様化していくには、図書館や自治体などの研修や支援が役立った。

地域に根ざしてやっていると、子どもから高齢者まで活動がしぜんと広がっていく。つまり、様々なニーズに行き当たり、誠実に応えていくと実に多様な活動になった。そして、時代の流れとともに、新たな課題が出てくる。

報告から、地域でボランティア活動に関わるようになり、活動のなかで技術や見目を高め、学び成長していく人の姿が見える。

## ★大阪市立図書館の児童サービス

大阪市立東淀川図書館館長 角田人志氏

地域館 23、BM105 か所などによる、大阪市立図書館の全システムで担っている児童サービスの概要の発表があった。幼児向け、子ども向けの講座や催し、ティーンズや障がいのある子どもへサービス、また、幼児期読書環境整備事情や子ども読書活動の相談支援センターとしての地域図書館などの「区における子ども読書活動推進」、さらに学校支援を概説された。

## 【事例報告 2】

絵本の楽しさをもっともっと！～年齢も障がいのあるなしも関係ない！～

絵本いろいろの会 絵本あれこれ研究家 加藤啓子氏

加藤氏は長年、幼稚園、保育所、学校などで、面展台を使い、写真集も取り入れ多彩な「えほんのひろば」活動を、関西圏を主体に意欲的精力的に展開してきた。そんな講師の実演を交えた語りが聴衆を魅了した話術が強く印象に残った。

扱う絵本は、文章が少ない、あるいは文がない、それでいて深いテーマがあるものを選んでいく。それを子どもや若者や大人が見ていると、自分らしい気づきや発見があって、絵本の奥深さを体感する。近年、バンコクで実践を行って大好評であった。

当日の資料冊子に詳細が掲載されているので参照されたい。

会場の外のロビーで「えほんのひろば」活動の実例が披露されていた。翌日、要望に応じて面展台の作り方のチラシが配布された。

## 【事例報告 3】

地域まるごと子育て支援拠点に～乳幼児から高齢者までがつながる～

特定非営利活動法人ハートフレンド代表理事 徳谷章子氏

徳谷氏は元教師だが、子どもの頃は内気で学校へ行けない時期があり、通信制の高校で学んだ。結婚して東住吉区に住み、2児をもうけた。育児ノイローゼになり30歳過ぎに倒れてうつ病になった。

立ち直りに1年ほどかけ、その後子ども会活動に誘われた。そこから、地域との関わりに参加して、桑津地域で、仮設消防署跡を借り受け、「桑津子どもの家」として、「子どもの居場所づくり」や「子育てを支え合える場」が発展していった。法人化（ハートフレンド）して、文部科学省の委託事業で「地域子ども教室」事業を担った。

現在は、平野区や八尾市にも広がり、乳幼児、学童期を、それぞれサポートする活動や

共生福祉のまちづくりをめざし、シニア世代にも子育てに協力してもらうため「おとなのてらこや」を始めた。こうして、地域のだんらんのをたくさん作って包括的な子育て支援をはかっている。

### 【基調報告】

#### 児童サービスの現況と課題

日本図書館協会児童青少年委員会委員 杉岡和弘氏

日本図書館協会児童青少年委員会が、2015年度に行った「全国公立図書館児童サービス実態調査」の中間報告を、「児童サービスの現況と課題」として報告した。具体的には、調査内容の設問項目について、施設や担当職員、児童資料、選書、保存、レファレンス、活動（おはなし会）、大人向け講座、利用に障がいのある子へのサービス、多文化、あるいは乳幼児サービス、学校支援、ボランティアの協力などについて、簡便に集計値を解説した。

### 【概要】

第一日目は、実行委員を含め参加者 160 名程度。

資料が充実していて、各報告者が濃い内容を各 30 分の短い発表時間を厳守され、要点をおさえて上手に発表された。

発表がこれまでにない課題を扱った内容になり、テーマに戸惑った参加者もおられたかもしれないが、地域の最前線で臨機応変に活動されている「民」の力を実感することが出来て良かった。即ち、児童サービス活動として図書館が子どもと関わり、地域の実情に応じて、民間の子ども読書活動や子どもに関わるボランティア活動に協力したり、支援したりしてきて、地域の子どもの最前線の実情が見えてきた。この中から地域に根ざして活動しておられる団体の活動の努力と問題を通して、子どもと図書館、子どもの読書と地域の関わりについて、図書館が「どんなことをしていかなければならないのか、いま何ができるか」を主眼として研究集会の主題が設定されたと理解した。その実情や実態は、基調報告を含めしっかりと垣間見ることが出来た。

その後、図書館協会、主催者、参加者 70 数名で懇親会が開かれ、意見交換など交流が図られた。

### 第 2 日目（1月 19 日）

#### 【講演・ワークショップ】

地域・社会で子どもをはぐくむ  
～読書活動を通して考える～

武蔵大学人文学部教授 武田信子氏

140人ほどの参加者を5～6名ずつ班分けして席を定めてあった。全国研究集会で、これほど多くの参加者をこのような形にしてワークショップを試みたのは前代未聞ではないかと思われる。主管館のご苦勞を感じた。この形式で講師が記入表を使ったり、班内で意見交換をしたりして進行した。

前日に明らかにされた子どもの問題などを、「これからどのようにしていったらよいか」、それを考え続けていくために、具体的には、1人ひとりがあらかじめ定められた用紙に記入、1人1分で自己紹介したり、各人の子どもの頃のことや読書体験、その環境などを述べあったりした。先の課題について、これからを考え続けていくためには「ことば」が大事で、赤ちゃんや子どもがどんな言語環境にいるのかなど、進行内容は講師の話が主になった。地域の団体への取組みの例として三鷹市の例などが紹介された。

90分予定されていたが、最後に、「自分たちの地域の“子どもたちが集まる図書館”を作ろう」という目標については、各人がどんな図書館を作りたいかということは5分ほどになり、各班、緒にもつけなかったのではないかな。

参加しての感想は、地域社会で見てきた子どもの現状の問題について、図書館がどう関わっていくのか考え続けていくか、このことの重要性を指摘した点が成果だといえよう。講師が図書館の熟知者であれば違った進行になったかと考えると、逆に、こういうテーマについて、図書館人が子どもの貧困など福祉面と言える現状の問題について、学習し熟知していくことの必要性も強調されてよいと思う。

### 【全体会（研究討議）】

「子どもたち一人ひとりが心豊かに育つために、図書館は何ができるか」

設定されたテーマについて、70分で第1日目の報告者と2日目の講師がパネリストになって討議をする会であった。結果として、残念ながら、肝心の「図書館は何ができるか」について、1日目、2日目のワークショップをふまえて討議するには至らなかった。

初めに、昨日、質問用紙で提出された具体的な質問に回答があった。これで約半分の時間を使ったが、受けた質問をなおざりにせず、昨日の報告者は懇切丁寧に答えてとても良かった。

残り半分、質問がひとしきりすんだ後、予定された研究テーマにいくと良かったのではないかな。即ち、「子どもたち一人ひとりが心豊かに育つために、図書館は何ができるか」が討議できればよかったのにとと思う。児童サービスで、いつの時代、どこの地域でも重要な普遍的なテーマでもある。予定された研究テーマにある、“図書館が”ということは、この場合、児童サービスは何ができるか、ということであろう。これについて、これまで活動のなかで培ってきたことでできることはないであろうか、とか、蓄積された知識、技能を

十分地域社会に還元できていないことはないであろうかなど、各館の活動から出し合えたのではないかな。そうすると、活動されている発表者といくらかでも実のある意見交換になったのではないかな。その上で、今はできていないが、これまで培ったことに、こういう条件を整えば手が付けられるなど、先を切り開く考えも探れたのではないかなと思った。



担当者会の様子



大阪市中央図書館多言語絵本コーナー

## 2. 都道府県立図書館及び政令指定都市市立図書館・児童サービス担当者会・報告

草津市立図書館／日本図書館協会児童青少年委員会委員 二井治美

日時:平成 30 年 1 月 19 日(金)14:00～15:30

会場:大阪市立中央図書館・中会議室

平成 29 年度 全国公共図書館研究集会(児童青少年部門)第2日目終了後に行った。限られた時間の中、有意義な情報交換の場となるよう、共有が必要な質問については、その場で話を伺い、今後のやりとりで可能な案件については、館名のみをお知らせすることにし、今後の個々の情報収集に役立ててもらおうことにした。

### I 児童サービスの初任者研修について

以下、簡単に報告いただいた。

1. 都立多摩図書館:6講座3日間 参加者 117 人(正規 42%:非正規 58%)

評価;良い+大変良い 97%

- ① 絵本(市立図書館員)、②科学の本(大学教授)、③児童文学(多摩図書館員)、④ 昔話(市立図員)、⑤おはなし・ブックトーク(市立図員)、⑥児童図書館活動(市立図員)

\* ( )内は講師

- ・基礎研修 + モチベーションをコンセプトに実施。
  - ・講師が図書館員であるので、具体的、実践的である。先輩に聞く雰囲気。
2. 福岡県立図書館:40 年来の歴史、初任者研修は県図職員のみ 2, 3 人で講師を担当。  
定員 20~30 名(定員増の要望)子どもと読書講座入門 4 回、①②児童サービスを取り巻く  
現状、読み聞かせ理論、選書、レファレンス ③④おはなし・ストーリーテリング実習  
(専門研修=講師養成/杉山きく子氏)
  3. 岐阜県図書館:諸分野の研修を含めて 5 日間、そのうち1コマ(80 分)県図職員講師担当  
初任者対象は3年まで、内容は主に読み聞かせについて、県児童図書研究室の活用例  
(中堅向き実践研修講座)
  4. 石川県立図書館:入門実務研修、年5回のうち、児童サービスは(6月1月)2回、理論よりすぐ  
使える内容。今年度は、読み聞かせ(元公図職員)、紙芝居の演じ方、選び方(研究者) 県公  
図協議会主催。過去には、YA サービス、見せ方ディスプレイ、紹介文の書き方等の講座もあ  
った。学校図書館司書も半数参加。

#### < Q & A など >

- ・埼玉、千葉など、2~4日間が多い。埼玉では、県下の職員のニーズを聞いて行う。
  - ーQー : 島根県立図書館:内容(テキスト)はマニュアルがあるか、講師が(独自に)作成か?
  - ーAー : 担当者作成がほとんど。高知、福岡は館自作成内容。
- 基本内容が決まっていて、講師担当が少しアレンジ。

#### < 参考意見 >

塚原委員:基本とニーズをとらえて行うことが大切。都立多摩、福岡県立のように体系化していければよい。1つの市町村図書館ではできにくい。県立図書館が中心に市町村図書館と協力して計画するのが良い。

## II 質問事項

### (1)全点購入について

高知県立図書館: 新館開館時より児童書全点購入を開始。

- ① 全点購入の範囲は?⇒ 絵本のみ、参考書やキャラクターものは除く、など。
- ② 装備はどのように?⇒ 全点購入以外の本と同じ装備か、ラベルは貼らずとか。
- ③ 全点購入後の本の使い方?⇒他の図書館へ送って、見てもらうとか。
- ④ 全点購入に関してのアドバイスを。

静岡県立中央図書館:新刊児童図書全点収集館のうち、18歳以下を利用対象として収集している館(もしくは収集しているところの情報を知っている方)に、その収集範囲の設定方法を尋ねたい。

例) MARCの利用対象を参考に収集している、など

補足:児童書とすると、13~18歳の図書が抜け落ちるのではないか。

<参考意見>

川上委員 : 用語では、全点購入と全点収集を区別しておきたい。購入できない本にも子どもに役立つ物がある。県立図書館としては、今後は、非商業出版物も大事な収集の対象である。

イ: 県下で網羅的に実物を見る必要がある人や子どもへ、見ることができる条件を用意する。

ロ: 県下の図書館(や団体、グループ、人)の選書に役立てる。

ハ: 県下の住民のために保存(将来の閲覧、貸出の留保)。

ニ: 研究者、大学生などの調べものが可能なように準備(資料の担保)。

網羅的に収集できているのは、納本制度のある国立国会図書館。そのデータは以前とは格段に早く提供されているので、上手に活用したい。

#### 【網羅的購入している館】

岐阜 : 絵本のみ、貸出用と別に、希望する図書館に送り、選書の助けに。

茨城 : 参考書、キャラクターもの、政治・宗教色強いもの、デビュー作除く。全て貸出可。  
 装備同じ。

児童は全点購入することになっているが、予算上のことで難しくなっている。

鳥取 : 絵本と読み物2巻目以降、漫画、キャラクターものを除く。選定資料室に置き貸出せず。  
 出版年月をシールで、即貸出可にしている。複本購入し、一般に貸出している。

長崎 : 参考書、漫画、書込み式。貸出する。装備同じ。

静岡 : 全点収集をしている。中学生までを対象としている。

\* 国際子ども図書館は、18歳までを対象となっている。これはここだけ。

滋賀 : MARCで児童になっているものすべて、装備は通常と同じ、予算上の実情で全点が難しい。貸出用に購入が難しい。

岡山 : 漫画、書込み式除く。1年間は研究用で個人貸出せず。月単位で市町村に貸出す。

大阪 : 大阪府立国際児童文学館が行っている。

<参考意見>

杉岡委員 : 収集範囲の確認が難しい。YAの全点収集の話は聞かない。

#### (2) 読書ボランティアの講習

している: 広島、石川、茨城、静岡、島根

#### (3) 小学校の「調べ学習」の来館

対応している：石川、都立多摩、福岡、大阪府立、鳥取、大阪市(HP 参照のこと)

大阪市：小学校の来館はあまりない。中高、事例あり。主に中央図書館が対応。

<参考意見>

高橋委員：市町村図書館では、HP 上でツールを公開。

(4) 乳幼児向け絵本

奈良県(児童サービス実施せず)以外、別置記号をつけて別置している。

(5) 講師として職員派遣をしているか

している：茨城、奈良以外は派遣している。

岐阜：図書館からの申し込みにより出前講座。

石川：どこへでも。県政出前講座以外は旅費実費でいただく。(読み聞かせ、ビブリオバトル)

都立：どこからの申し込みでも。読みきかせ、ブックトーク。講師費用は都立持ち。

福岡：新任幼稚園研修、謝礼はなしで、旅費を負担してもらうことも。

大阪：会場、広報は市町村に依頼。

鳥取：市町村図、学校を対象。謝礼、旅費なし。

長崎：市町村対象、主催以外は旅費を負担してもらう。

滋賀：幼稚園、子ども園。公費負担。

福井：幼稚園、保育園初任者研修。今年、越前市図書館支援。

岡山：学校、図書館対象。公費負担。

大阪市：学校、一般。場所を用意していただき、公費負担。市内出前講座 10 人以上派遣。地域は、それぞれの区の図書館職員が担当。

(6) その他 Q&A

Q-1. 読書ボランティアを対象とした研修(読み聞かせ、選書、わらべうたなど)で、おすすめ講師の方を教えてください。

A-1. 近隣の図書館など、手を挙げた館と直接話を聞いて下さい。

Q-2. 福井県立図書館より、小中学校への学校支援をしているか。

A-2. 都立：調べ学習。指定管理区市町村立図書館へのバックアップ。

茨城：モデル校、団体貸出、学校視察。

福岡：学校用図書セット、近隣小学校のおはなし会参加(ストーリーテリング)

鳥取：学校図書館支援センター、新刊 1 年分を市町村図書館まで。講師派遣。

静岡：巡回展示、担当職員による選定リスト公開/月。新刊サロン

滋賀：市町村図書館のバックアップとして協力貸出。学校図書館の活性化事業として、

リニューアルや配置換えなどの援助(例/教師、保護者、生徒も夏休みに手伝う)、これは「学校図書館リニューアル」として年度内に作成中。

### Ⅲ 主催者日本図書館協会より

西野副理事長: 県立図書館が体系化した研修を行うことは大切。神奈川県立図書館は児童サービスがなくなったので、難しさを実感している。

鈴木常務理事: 県図書館協会が、一般初任者研修の中でも取り上げる必要がある。

川上委員: それぞれの図書館の事例を伺い、それぞれ前進する意欲が強いのが感じた。

#### 【出席者】

日本図書館協会出席者: 西野一夫副理事長、鈴木隆常務理事

日本図書館協会児童青少年委員会委員: 浅見佳子(鎌倉市中央図書館)、川上博幸(元枚方市立図書館)、杉岡和弘(姫路市立城内図書館)、高橋樹一郎(天理市立図書館)、塚原博(実践女子大学)、依田和子(よこはまライブラリーフレンド)、

司会進行 : 二井治美(草津市立図書館)

#### 【出席館】(都府県 18、政令指定 1)

福島県立図書館、茨城県立図書館、東京都立多摩図書館、静岡県立中央図書館、石川県立図書館、福井県立図書館、岐阜県立図書館、滋賀県立図書館、大阪府立中央図書館、奈良県立図書情報館、岡山県立図書館、鳥取県立図書館、広島県立図書館、島根県立図書館、香川県立図書館、高知県立図書館、福岡県立図書館、長崎県立長崎図書館、(大阪市立阿倍野図書館、大阪市立中央図書館)

会議の時間は、大阪市立中央図書館の了解のもとに 30 分延長させてもらった。終了予定時刻に一旦中締めをした。帰りの時間の都合上、1館が15時過ぎに退席されたが、18 館は残って話を続けた。最後に県立図書館は市町村立図書館のバックアップ機能としての役割を果たしていただくことをお願いして、会の終了とした。

### ■ 図書館訪問記 2 <日本の図書館は今>

明石市立あかし図書館訪問記 <2018年9月28日(金)訪問>

児童青少年委員会委員 川上博幸

#### 【あらまし】

明石市立市民図書館(組織内では本館と呼称)は、2017(平成29)年1月27日、JR・山陽電鉄明石駅南側(海より)の駅前再開発ビル「パピオスあかし」4階に移転して再開館

した。それまでは、明石城のある明石公園内にあった。建物は兵庫県立図書館と合築で運営は別であった。徒歩15分はかかる場所から、駅前徒歩3分という至便の位置になった。

あとに付記するように、この大きな建物には子どもに関する施設など多彩な施設が同居していて、市民には使い勝手のよいとても便利な建物である。市の再開発事業が成功して、それまで寂れ感があった地域から一変して、人々の賑わいがよみがえっている。

商業施設に遅れての明石市立あかし市民図書館の開館である。それ故、29年度の利用者は、明石公園内にあったときの4倍にも達している。図書館のある4階部分の開架スペースは3500㎡である。

### 【児童サービス関係】

入口から入ると広く、正面方向が児童エリアである。全体の4分の1弱で、800㎡程度、5万冊程度の配架冊数と推察した。児童エリアに児童用の小さいカウンターがある。総合カウンターはその左である。その間に自動返却機があり、小さい「さかなクン」(明石の魚大使役をしている)コーナーもある。児童エリア内には、おはなしのへや、多目的室、赤ちゃん絵本コーナー、児童トイレがあり、親と一緒に入れるトイレが一室ある。

書架は3段~4段の低書架がほとんどで、5段書架は奥の西コーナーに4台ほどあり、壁面はもっとあるが5段くらいまでしか使用されていない。一般的な書架は概ね主題図書に使われ、床置き書架は絵本、物語に使われ、少しふくらみのある曲がった形状で、オリジナルと思われる。

書架の配置は、入口を入るとすぐ、日本の読み物(著者の50音順)、すぐ右の壁面が外国の読み物(著者の50音順)、ここは児童カウンターの正面。児童カウンターの右横が調べもののコーナーで、奥へ向かって主題図書を配架。これらが順序良く並んでいるとはいえない。読物は、日外共に50音配列が大きく他の場所へ飛んでいて、ちょっと探してもわからない。訪れたときにも、大人の利用者にも続きがどこかわからないと言っている人がいて、結局、二人して職員に聞きに行った。これは蔵書数を考慮せず、あらかじめ決められた場所に配列していくと全部入りきらず、残りは別の空いているところを探して並べたというものであった。開館して1年以上になるのだから修正して然るべきだが、当面の措置が日々の仕事に追われ、開館後なかなか修正できない実態があった。このことは一般書の配架でも同様であった。

日本の読み物の奥。児童エリアの中央部が絵本のコーナーで書架は右斜めに配置されている。おはなし絵本は、画家順の配架で、基本的に書架に差し込み式で、表紙を見せる面展は隙間があるところだけであった。汽車型のボックス書架(のりもの)もあった。ちしきえほん、昔ばなしえほんを区分しているし、大型絵本もある。赤ちゃん絵本のコーナーも別にある。絵本コーナーの近くの壁面には子育て関係書もあった。

図書は殆どが新しく揃えたものだったが、旧館時代の図書もいくらか見受けられた。蔵書は約5万冊の開架である。旧館の蔵書がおそらく書庫にあると思われる。選書は網羅的を目ざしているかに思えた。読みつがれた作品は入っていたし、新しく出たはやりの本もあった。抄訳本も名作全集もあった。伝記やその他見栄えの良い本は収集してあって玉石混交といってよいと思われる。

### 【いろいろな行事】

子ども向け活動は多彩に行われている。

童謡絵本の会、英語のよみきかせ、おはなしひろば（0~3歳児、4~6歳児、小学生向け）、すくすくすいようタイム（2歳児以下の幼児とその保護者）、おやこでえほん（3歳以下）、にこにこかみしばい、てづくり会（回転円形せんすをつくろう）、切手あそび、DVD上映会（子ども向け/大人向けもある）。これには、旧館時代から活動されている「明石市立図書館おはなしの会」も2,4土曜日に担当されている。

その他、ナビカード（自習研究、調べものに使う100種類のテーマ）の展示と配布、子ども修理工房。夏休みには、一日図書館員、夏休み応援ラボとして、新聞研究室など、生物、作文、アロマ、錯覚の研究室の取り組み（これらを教わり学ぶ）があった。他に、図書館調べ隊、こわいおはなし会、へいわおはなし会があった。

なお、児童エリアについては、「本の町アドバイザー」として、松岡享子氏が関わられたと館長の説明にあった。

その他、ブックスタート事業、セカンドスタート事業も、5階の子育て支援部署と協同事業として取り組んでいる。

入口に喫茶コーナーがある。

この前で、定時に、並んでいる人に、決められた時間使える自習席の券を配布していた。

### 【施設規模】

図書館専用部分：全部 4100 m<sup>2</sup>、4階 3500 m<sup>2</sup>、6階書庫スペースが 535 m<sup>2</sup>

### 【利用冊数・開館日等】

市民図書館開館から、従来の1人1回10冊まで（AV2巻）から、20冊（AV2巻）となった。予約は10件（AV2巻）まで。

開館時間：平日 9時~21時、土日祝 9時~19時

休館日：月曜日、第3火曜日（祝日と重なると開館、翌日が休み）、長期休館 4~6月の間の10日間、年末年始（12月29日~1月3日）

明石市立図書館を含め、近隣9市3町で広域貸出をしている。

### 【その他】

「パピオスあかし」には、2階にジュンク堂の店舗があり、5階には、あかし子育て支援センター（児童書 8000 冊のこども図書室／明石市こども未来部子育て支援課が運営）、あかしこども広場（多目的ルーム、プレイルーム、キッチンルーム、工作ルーム、親子スペース・ハレハレ）、一時保育ルーム、ユーススペース（中高生世代交流施設＝音楽スタジオ、ダンススタジオ、フリースペース、交流スペース）がある。1,2階は商業スペースである。

6階には市役所の支所のような窓口もある。子どもに関するいろいろなことはこの建物でおおよそ事足りる感じがした。市民には便利で利用しやすい施設だといって差し支えない。

### 【さいごに】

明石市立あかし市民図書館は、衰退気味の明石駅周辺に活気を呼び戻すために、民間事業者がにぎわい創出を図ってこられたという経緯がある。市も関わって駅前再開発施設を建設し、そこへ市役所の窓口を作る計画になっていた。市長選で市民に市役所より、要望のある図書館などをという候補者が当選して、計画が変更されたということである。

平成 24 年度に、専門家や子ども読書活動者 2 名や市民公募者 3 名を含めた、「市民図書館の在り方検討委員会」を設置して、基本計画が 25 年度に策定された、という経過を持つ。この策定計画は、優れたものだが、ここには指定管理者制度のことは出てこない。だが指定管理者制にするというのは、この前から決まっていたということであった。基本計画が策定され、実施計画が策定され、建設、開館する過程は外部にはわからない。その結果、賑わいが戻り成功事例として民間運営が成功したと世間には広がっていくのであろう。

News Letter no.21 ニューズ・レター

編集：依田和子、高橋樹一郎

発行者：島 弘

発行：日本図書館協会児童青少年委員会

日本図書館協会児童青少年委員会事務局 川下美佐子

Tel.03-3523-0816/Fax.03-3523-0841

メールアドレス kawashita@jla.or.jp